

アーティスト・イン・ミュージアム AiM

よこやま なみ Vol.11 横山 奈美



横山奈美《forever》2020年 木炭紙に木炭（一部）
撮影：若林勇人

アーティストはどうやって作品を作り出して
いくのだろうか？

どんな人が作っているのだろうか？

作っている時何を考えているのだろうか？

完成した作品を美術館で鑑賞するだけではわ
からないアートが生まれる瞬間を体験できたり、
時には参加することができるのがアーティスト・
イン・ミュージアム(AiM)。美術館の中に
アーティストのアトリエが出現します！

岐阜県美術館長 日比野克彦

岐阜県美術館
THE MUSEUM OF FINE ARTS, GIFU

展覧会名	アーティスト・イン・ミュージアム AiM Vol.11 横山奈美
会場	岐阜県美術館 アトリエ（岐阜市宇佐 4-1-22）
会期	【公開制作】令和3年11月12日（金）～12月11日（土） 【作品展示】令和3年12月21日（火）～令和4年1月23日（日） 開館時間／10時00分～18時00分 夜間開館／11月19日（金）、令和4年1月21日（金）は、 20：00まで開館 休館日／毎週月曜日（祝日の場合は翌平日）、 [年末年始] 令和3年12月27日（月）～令和4年1月4日（火） ※公開制作期間中は、アーティストが会場で滞在制作を行います。状況に よってアーティストが不在の場合がありますのでご了承ください。
料金	無料
主催	岐阜県美術館
後援	岐阜県教育委員会、岐阜市教育委員会
協力	KENJI TAKI GALLERY

※ 新型コロナウイルス感染症拡大予防対策のため、予定を変更する場合があります。

事前に岐阜県美術館 Web サイトでご確認ください。

本資料に関するお問い合わせ

岐阜県美術館 広報担当：橋本 企画担当・普及業務専門職：後藤
〒500-8368 岐阜市宇佐 4-1-22
TEL 058-271-1314 FAX 058-271-1315
<http://www.kenbi.pref.gifu.lg.jp>
E-mail: hashimoto-hironori@pref.gifu.lg.jp

**本事業に
ついて**

岐阜県美術館では、アーティストの制作活動を身近に鑑賞する機会創出のため、アーティストの横山奈美氏を招聘して「アーティスト・イン・ミュージアム AiM Vol.11 横山奈美」を開催します。

**よこやま なみ
横山 奈美 氏****プロフィール
(経歴)
(活動実績)**

1986年 岐阜県生まれ
2010年 愛知県立芸術大学 油画専攻卒業
2012年 愛知県立芸術大学大学院
美術研究科 油画版画領域修了

[主な受賞]

2012年 petit GEISAI#15 審査員 桑久保徹賞
2016年 第8回絹谷幸二賞 奨励賞
2017年 日産アートアワード 2017 オーディ
エンス賞

**[パブリックコレクション]**

豊田市美術館、愛知県美術館、日産自動車株式会社、愛知県立芸術大学

消費され捨てられる物に光を当て、それを描く「最初の物体」シリーズ（2012年～）や、ネオンをモチーフに、ガラス管や背後に存在する配電線、フレームまで克明に描く「ネオン」シリーズ（2016年～）など、物を見て描くという行為を通し、私達や物に与えられた役割や制度を再考する。

近年の主な展覧会に「誰もいない」（KENJI TAKI GALLERY、2020年）、「アペルト 10 横山奈美 LOVE と私のメモリーズ」（金沢 21世紀美術館、2019年）、「開館 25周年記念コレクション展 VISION Part 1 光について / 光をともして」（豊田市美術館、2020年）、「日産アートアワード 2017」（BankART Studio NYK、2017年）などがある。

**作家
ステイトメント**

私は、日々の生活の中から見つけた消耗されていくもの、廃棄されていくものをモチーフに静物画を描いています。消耗品や廃棄品は最後には捨てられる宿命を持って作り出されます。その物にとってはどうしようもない事です。

中学生の頃、私はアメリカ人のアイドルに憧れていました。どうしたら彼女のようになれるかを考え、金髪のウィッグを被ったり、水色のアイシャドウをたっぷり塗ってみたいと思いました。でも、いつも近づこうとするほど彼女との違いに打ちのめされたのです。私にとってのどうしようもない事は、日本人だという事でした。

私が選んだこの油彩画というメディアも、西洋からの輸入によってもたらされたものでした。輸入されて間もない頃、高橋由一をはじめとする画家

たちは、今でいう3Dのような奥行きのある絵画や、油絵具の美しいタッチに魅了されました。海の向こうのアイドルに憧れた私と同じように、西洋絵画に憧れ習得しようとしていたのだと思います。彼らの作品からは西洋への憧れと現実のせめぎ合いを感じます。

西洋の長い絵画の歴史の壁が立ちはだかる前で、日本人としてどんな油彩画が描けるのか。それは壁を見上げるのではなく、自分の足元にあるどうしようもない事をいかに作品として立ち上がらせるかだと思います。私にとってそれは日本の油彩画の原点に戻り、日常から見つけたものをモチーフに静物画を描くことです。モチーフは捨てられるものですが、そのものの全てを逃さず隅々まで描いていきます。本来主役にならないものたちを主役にする事で、与えられた意味、用途から離れて、人間よりも大きな物体や生物、風景へと見え方が変わっていきます。捨てられていく物たちの宿命という柵を取り払い、そのものが持つ根源的な存在感を現しています。

現在は廃棄される物の他に、ネオンを描くシリーズを制作しています。ネオンは廃棄される物ではありませんが、目立ってしまうと格好悪いとされている裏側の配電線のチューブや軸に焦点を当てて描いています。ネオン管の光を理想や憧れ、裏側を取り繕えないことに見立てて一枚の絵画に描く。理想や憧れと共に誤魔化せない格好悪い部分が表に現れます。そして露わになったネオンの光の背後で交差する配電線の黒いチューブや軸は、絵画を支える構造の一つになり、ネオンの光の美しさと同様に、表舞台に立ち上がってきます。

世の中にはどうしようもない物事がたくさんあります。でもそれは壁を見上げたり、決められた価値に囚われているだけかもしれません。私はその囚われた柵から自分や物を解放するために、外から決められた価値や美しさではなく、全てのものに備わっている根源的な美しさ、存在意義を絵画を通して表現しています。

関連イベント

◆横山奈美×ナンヤローネ アートアクション「foreverを描く」

横山奈美さんの作品「forever」は、前日に描いた絵を見ながら次の日も同じように描き続けていくルールのもと制作されます。

これは、毎日同じように絵を描くという行為によってなんでもない日常を明日へ繋ぐ作品です。

あなたも「forever」を制作してみませんか？期間は1週間。初日は美術館のお庭で寝転んだり、皆さんの日常についてお話をしたりした後で1日目の絵を描きます。

翌日からは皆様のご自宅で1日1枚ずつ前日に描いた絵を見ながら制作してもらいます。8日目には1週間分の作品を並べて鑑賞会をします。皆さんの作品を観ながらお話ししましょう。

日時：「1日目を描く」 令和3年12月19日（日）13：30～15：00

「鑑賞会」 令和3年12月26日（日）13：30～15：00

講師：横山奈美

会場：岐阜県美術館 アトリエ、スタジオ

定員：10名（ただし、2日間とも参加できる方）

その他：要事前申込み、無料（事前申込み、その他詳細情報は、岐阜県美術館 Web サイトより）



広報画像貸出申込書

FAX 送信番号 : 058-271-1315

貴社名		ご担当者名	
媒体名	(掲載コーナー、特集名 :)		
ご住所	〒		
ご連絡先	TEL :	FAX :	
	E-mail :		

1. ご紹介いただける場合、貴媒体の情報をお知らせください。

掲載/放送	月	日	発売・放送 (月号) / 発行部数	部
掲載内容				

2. 広報画像はご使用になりますか。

はい 画像データ到着希望日 (月 日) いいえ (写真は使用せず、文字掲載のみ)

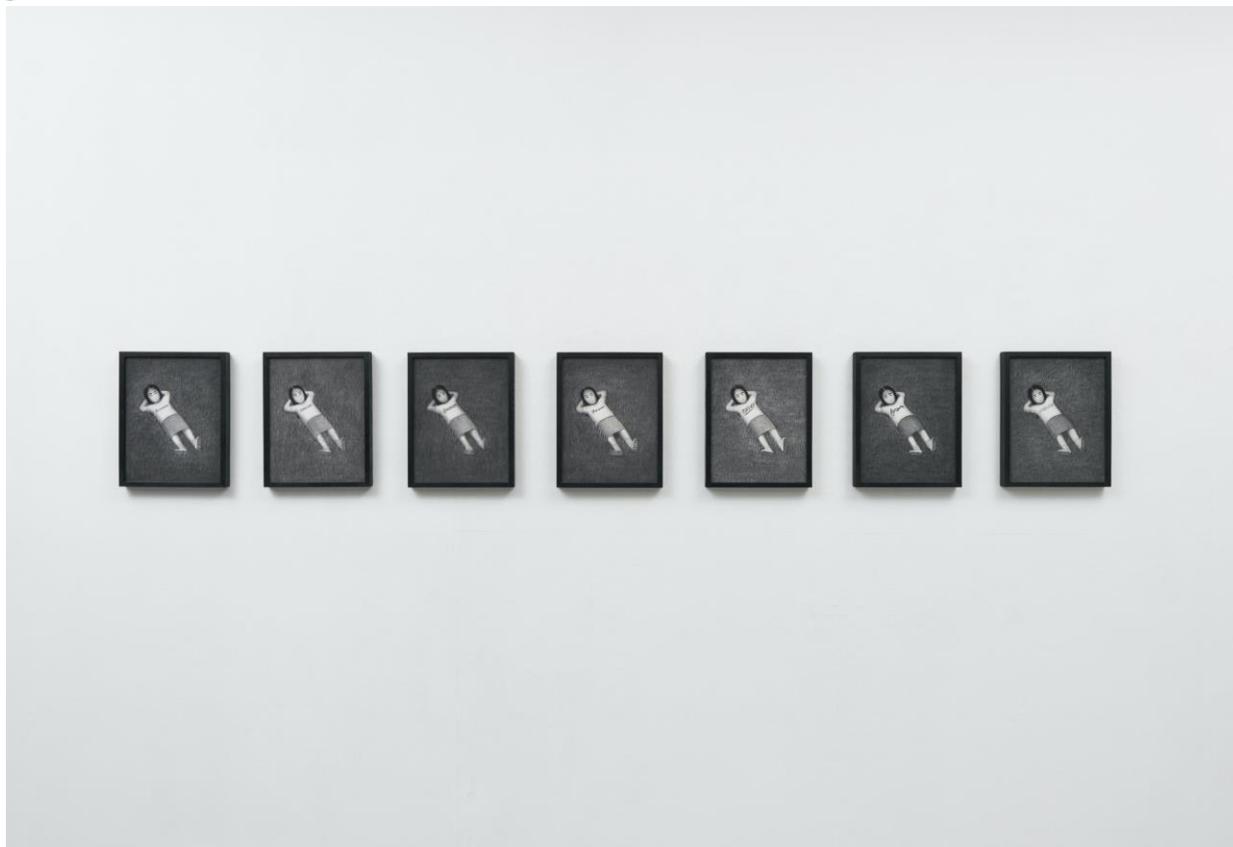
3. 別紙の写真をご参照の上、ご希望の【画像番号】にチェック☑してください。

下記キャプションの作品名称、所蔵を必ずご記載ください。

<input checked="" type="checkbox"/>	番号	ご掲載時のキャプション表記
<input type="checkbox"/>	①	横山奈美 《forever》 2020年 木炭紙に木炭 撮影：若林勇人
<input type="checkbox"/>	②	横山奈美 《forever》 2020年 木炭紙に木炭 (一部) 撮影：若林勇人
<input type="checkbox"/>	③	横山奈美 《painting》 2020年 麻布に油彩 撮影：若林勇人

■ 広報画像一覧

①



②



③



【広報画像使用に関する注意事項】

- 本展広報目的での使用に限ります。
- 展覧会名、会期、会場名は、必ず掲載してください。
- 作品画像は全図で使用してください。トリミングや文字を重ねるなどの画像の加工・改変はできません。
- 転載などの2次使用をされる場合には、別途申請いただきますようお願いいたします。
- Webサイトに掲載する場合は必ずコピーガードをしてください。
- 掲載・放送後は必ず、掲載誌・同録テープ・DVD等を、岐阜県美術館へ1部お送り願います。
- 会期中の会場取材・撮影をご希望の場合は岐阜県美術館までご連絡ください。